



健やか親子いきいきプランみえ

親と子が健やかに暮らせる地域社会づくりをめざして

地域

家庭

団体

学校

企業

行政



1 計画策定の趣旨

少子化や核家族化の進行、地域社会の希薄化などから、子どもを取り巻く環境が大きく変わり、子育て不安やストレスが増大し、母子保健の重要性が高まっています。

母子保健は生涯を通じた健康の出発点であり、次世代を健やかに育てるための基盤となるものです。

そこで、今後の母子保健対策における各課題の具体的な数値目標を設定し、目標達成のための体制づくりを進めるための実施計画として策定することとしました。

2 計画の基本理念

『親と子が健やかに暮らせる地域社会づくり』

「新しい総合計画 三重のくにづくり宣言第二次実施計画」で掲げる安全で安心なささえあい社会をつくるために、行政のみならず県民のみなさんとともに家庭、学校、地域等社会全体で力を合わせて行う「親と子が健やかに暮らせる地域社会づくり」を計画の基本理念とします。

3 計画の期間、評価

平成15年度（2003年）から平成22年度（2010年）までの8か年計画とします。数値目標を設定し、平成18年度（2006年）に目標達成の進捗状況进行评估し、計画を見直しながらい進めていきます。

4 重点課題

(1)妊娠出産の安全性と快適さの確保や不妊への支援等

安全で安心して妊娠・出産できる環境をつくるとともに、妊産婦のメンタルヘルスや不妊相談等の支援をします。

(2)子どものこころとからだの健やかな発達

子どもの心身の健やかな成長や発達の支援をするとともに、児童虐待のない三重県をめざします。

(3)安心できる小児保健医療体制の整備

子どもが病気になっても不安のない保健医療システムをつくり、子どもの健康管理と医療を充実します。

(4)思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

心身ともに発達や変化の大きい思春期において、学校、家庭、地域などが協力して保健対策を強化し、健康教育を充実することによって、子どもが主体性を持って自立できるように支援します。

5 推進体制

「親と子が健やかに暮らせる地域社会づくり」をめざし、数値目標の達成に向けて、県民、地域、学校、関係団体、行政などそれぞれが力を合わせ取り組むことが必要です。

数値目標に対して、それぞれに合った具体的な取組を推進し、平成18年度（2006年）には、中間評価を行い見直しをしながら進めていきます。

みんなでいっしょに取り組みましょう!!



親と子が健やかに暮らせる地域社会づくり

妊娠出産の安全性と快適さの確保や不妊への支援等

重点課題(1)

県民運動としての取組の方向

- ①妊娠出産に関する適切な知識や情報を得られる。
- ②妊娠出産、産後におけるこころの変化に応じて希望するケアが必要な時に受けられる。
- ③生涯を通じた女性の健康の保持増進とQOLの向上ができる。
- ④安全性と快適さを意識した妊娠、出産体制が整備され、安心して出産ができる。
- ⑤産婦人科医等の確保により、地域格差のない医療が受けられる。



子どものこころとからだの健やかな発達

重点課題(2)

県民運動としての取組の方向

- ①子どもの発達に応じた育児や健康に関する知識・情報を得られる。
- ②安定した親子関係を保てるよう、育児支援が必要な時に気軽に受けられる。
- ③子どもの成長や発達の問題を早期に発見し対応できる。
- ④虐待等の予防、早期発見、早期対応、フォローアップのために関係機関の連携した取組がある。
- ⑤子どもの健やかな育ちを保障する地域づくりに取り組む。
- ⑥子育てをしながら安心して働くことができる地域づくりに取り組む。



安心できる小児保健医療体制の整備

重点課題(3)

県民運動としての取組の方向

- ①予防接種や虫歯予防、不慮の事故等子どもの健康の予防対策の知識と技術が得られる。
- ②障害児や長期療養児等が地域で生活でき、QOLの向上ができる。
- ③小児医療、救急医療体制が整備され、安心して医療が受けられる。
- ④小児科医等の確保により、地域格差のない小児保健医療が受けられる。



思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

重点課題(4)

県民運動としての取組の方向

- ①思春期の心身の発達に伴う変化、性や健康に関する正しい知識や情報を得られる。
- ②思春期の心身の問題を正しく理解し、適切な対応ができる。
- ③家庭・学校・地域等が連携して、思春期問題に対応できる。



重点課題(1) 妊娠出産の安全性と快適さの確保や不妊への支援等

【目標】安全で安心して妊娠出産できる環境をつくとともに、妊産婦のメンタルヘルスや不妊相談等の支援をします。

取組の方向性

- ①妊娠出産に関する適切な知識や情報を得られる。
- ②妊娠出産、産後におけるこころの変化に応じて希望するケアが必要な時に受けられる。
- ③生涯を通じた女性の健康の保持増進とQOLの向上ができる。
- ④安全性と快適さを意識した妊娠、出産体制が整備され、安心して出産ができる。
- ⑤産婦人科医等の確保により、地域格差のない医療が受けられる。

①妊娠出産に関する適切な知識や情報を得られる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	1 母子健康手帳交付時に保健指導を行っている市町村の割合	59.4% [41市町村]	100%	H13年調査
	2 妊婦相談を行っている市町村の割合	53.6% [37市町村]	100%	H12年度母子保健報告
○☆	3 不妊専門相談センターの整備	未整備	整備	
○	4 不妊治療を受ける際に、患者が専門家によるカウンセリングが受けられる割合	60.4%	増加	H14年産科・泌尿器科アンケート調査
○	5 妊娠11週以下での妊娠の届出率	69.6%	85%	H12年度母子保健報告
○	6 母子健康手帳交付時に母性健康管理指導事項連絡カードについて説明している市町村の割合	46.4% [32市町村]	75%	H13年調査

②妊娠出産、産後におけるこころの変化に応じて希望するケアが必要な時に受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	1 妊婦訪問を行っている市町村の割合	42% [29市町村]	70%	H12年度母子保健報告
	2 産婦訪問を行っている市町村の割合	52% [36市町村]	80%	H12年度母子保健報告
	3 新生児訪問を行っている市町村の割合	58% [40市町村]	80%	H12年度母子保健報告
	4 プレネイタル・ピジット（出産前小児保健指導）を行っている数	2か所	増加	H14年度

③生涯を通じた女性の健康の保持増進とQOLの向上ができる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	1 女性の更年期相談等を行っている窓口の割合（市町村・保健所等）	2.9% [2市町村]	30%	H13年調査
	2 公共の場所における分煙または禁煙実施割合（県・市町村・市町村民窓口・保健センター）	70%	100%	H12年度厚生労働省調査

④安全性と快適さを意識した妊娠・出産体制が整備され、安心して出産ができる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○☆	1 周産期医療ネットワークの整備	整備中	整備	
○	2 妊産婦死亡数	2人	0人	H12年人口動態調査

⑤産婦人科医等の確保により、地域格差のない医療が受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 妊産婦人口に対する従事している産婦人科医の割合	妊産婦118.3人に1人 [154人]	増加	H12年従事者届
○	2 妊産婦人口に対する従事している助産師の割合	妊産婦74.7人に1人 [244人]	増加	H12年従事者届

○…国の健やか親子21 ☆…新エンゼルプラン

重点課題(2) 子どものころとからだの健やかな発達

【目標】子どもの心身の健やかな成長や発達の支援をするとともに、児童虐待のない三重県をめざします。

取組の方向性

- ①子どもの発達に応じた育児や健康に関する知識・情報を得られる。
- ②安定した親子関係を保てるよう、育児支援が必要な時に気軽に受けられる。
- ③子どもの成長や発達の問題を早期に発見し対応できる。
- ④虐待等の予防、早期発見、早期対応、フォローのために関係機関の連携した取組がある。
- ⑤子どもの健やかな育ちを保障する地域づくりに取り組む。
- ⑥子育てをしながら安心して働くことができる地域づくりに取り組む。

①子どもの発達に応じた育児や健康に関する知識・情報を得られる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 1か月児健診時の母乳育児の割合(人工栄養との混合も含む)	85.5%	増加	H14年度産婦人科アンケート調査
◎	2 食育を実施する園及び学校の割合	0.2%	50%以上	ヘルシービープルみえ・21
◎	3 中学・高校生の朝食欠食率の割合	4.5%	0%	ヘルシービープルみえ・21
	4 市町村における子育て講座の割合	23.2% [16市町村]	50%	H13年度子育て学習の全国展開事業(教育委員会)

②安定した親子関係を保てるよう、育児支援が必要な時に気軽に受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 日常の育児について相談相手のいる保護者の割合	98.1%	増加	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
○	2 育児支援を目的として健診スタッフに心理相談員または保育士等が配置されている市町村の割合	34.8% [24市町村]	60%	H13年育児支援強化事業
○	3 親子のこころの問題に対応できる技術をもった小児科医の割合(子どもの心相談医登録者割合)	13.5% [26人]	50%	H13年登録者数
○	4 周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー割合	95.0%	100%	H13年

③子どもの成長や発達の問題を早期に発見し対応できる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
◎	1 児童、生徒肥満児の減少	7.9%	7%以下	ヘルシービープルみえ・21
	2 乳幼児健診の未受診者のフォローを実施している市町村の割合	1歳半91.3% [63市町村] 3歳89.9% [62市町村]	100%	H13年
	3 盲・聾・養護学校の教育相談件数	1校あたり59件	増加	H14年度教育委員会(H16年度目標 1校あたり70件)

④虐待等の予防、早期発見、早期対応、フォローのために関係機関等の連携した取組がある。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 虐待による死亡数(児童相談所関与)	0	0	H12年度厚生労働省調査
○	2 常勤の児童精神科医がいる児童相談所の割合	20% [1か所]	増加	H13年度
○	3 育児不安・虐待親のグループ活動の支援を実施している保健所の割合	33.3% [3か所]	100%	H13年度
○	4 児童相談所における児童虐待相談件数	364人	増加後減少	H13年度福祉行政報告
●	5 市町村における児童虐待防止のためのネットワーク設置割合	11.6% [8か所]	100%	H13年調査
○	6 情緒障害児短期治療施設の整備	なし	整備	
	7 児童養護施設における心理療法職員の配置の割合	30% [3か所]	80% [8か所]	H14年度
	8 専門里親登録数	0	10人	H14年度

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	9 児童自立支援施設における児童自立率	87.5%	増加	H13年度

⑤子どもの健やかな育ちを保障する地域づくりに取り組む。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
	1 地域協力員数	1,180人	2,000人	H13年度家庭支援体制緊急整備促進事業
☆	2 地域子育て支援センター設置市町村数	40市町村	全市町村	H14年度地域子育て支援センター事業
▲	3 地域の体験活動に参加した子どもの数	5,300人	増加	H13年度教育委員会 (H16年度目標 10,400人)
●	4 学校等で地域ふれあい交流を実施した参加者数	450人	増加	H13年度教育委員会 (H16年度目標 1,650人)

⑥子育てをしながら安心して働くことができる地域づくりに取り組む。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
☆	1 病気回復期の子どもを預けることのできる施設をもつ市町村割合	5.8% [4か所]	増加	H13年度乳幼児健康支援一時預り事業
☆	2 延長保育（開所時間が11時間を超える）を実施している保育所数	17.7% [79か所]	増加	H13年度延長保育促進事業
☆	3 一時保育を実施している保育所数	2.2% [10か所]	増加	H13年度一時保育促進基盤整備事業
●☆	4 放課後児童クラブ数	110	150	H13年度
	5 育児休業制度規定率	55.6%	増加	H14年中小企業資金等実態調査
	6 育児休業利用率	男 0% 女 70.7%	増加	H14年中小企業資金等実態調査
	7 育児時間等制度規定率	40.1%	増加	H14年中小企業資金等実態調査

○…国の健やか親子21 ◎…ヘルシーピープルみえ・21 ☆…新エンゼルプラン

●…三重のくにづくり宣言 ▲…三重県教育振興ビジョン第二次推進計画

重点課題(3) 安心できる小児保健医療体制の整備

[目標] 子どもが病気になっても不安のない保健医療システムをつくり、子どもの健康管理と医療を充実します。

取組の
方向性

- ①予防接種や虫歯予防、不慮の事故等子どもの健康の予防対策の知識と技術が得られる。
- ②障害児や長期療養児等が地域で生活でき、QOLの向上ができる。
- ③小児医療・救急医療体制が整備され、安心して医療が受けられる。
- ④小児科医等の確保により、地域格差のない小児保健医療が受けられる。

①予防接種や虫歯予防、不慮の事故等子どもの健康の予防対策の知識と技術が得られる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 妊娠中の喫煙率	4.8%	減少	妊娠前期・後期受診券 (H13年度母子保健報告)
○	2 妊娠中の飲酒率	11.2%	減少	妊娠前期・後期受診券 (H13年度母子保健報告)
○	3 育児期間中の自宅での両親の喫煙率	62.8%	減少	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
○	4 乳児期にうつ伏せ寝をさせている親の割合	19.8%	減少	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
○	5 心肺蘇生法を知っている親の割合	25.0%	増加	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	6 事故防止対策を実施している家庭の割合	72.2%	増加	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
○	7 事故防止対策事業を実施している市町村の割合	47.8% [33市町村]	100%	H13年調査
	8 1歳6か月児健診における不慮の事故率 (火傷・誤嚥・溺水・交通事故)	20.3%	減少	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
	9 チャイルドシート着用率	64.6%	100%	H14年1歳6か月健康診査時アンケート調査
◎●	10 う歯のない3歳児の増加	46.9%	78%以上	ヘルシービーブルみえ・21
◎	11 学齢期の1人平均う歯数の減少	3.44本	1本以下	ヘルシービーブルみえ・21
◎	12 フッ化物歯面塗布を受けたことがある幼児の増加	33.3%	67%以上	ヘルシービーブルみえ・21
◎	13 定期的な歯科健診の受診者の増加	33.8%	68%以上	ヘルシービーブルみえ・21
◎	14 歯磨きを1日2回以上する人の増加	54.9%	95%以上	ヘルシービーブルみえ・21
◎	15 かかりつけの歯科医がある人の増加	69.0%	95%以上	ヘルシービーブルみえ・21
○	16 1歳6か月児健診までにBCG接種を終了している人の割合	93.7%	95%	H12年度母子保健報告
○	17 1歳6か月児健診までに三種混合・麻疹の予防接種を終了している人の割合	三混 87.6% 麻疹 79.6%	95%	H12年度母子保健報告
	18 県内原発の麻疹の罹患状況	調査中	0%	三重県小児科医会

②障害児や長期療養児等が地域で生活でき、QOLの向上ができる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
△	1 障害者デイサービス事業数	8か所	16か所	H13年度障害福祉チーム
△	2 重症心身障害児(者)通園施設数	2か所	9か所	H13年度障害福祉チーム
	3 障害児保育を実施する保育所の割合	49.2% [220か所]	60%	H13年度
	4 看護師を配置している養護学校の割合	28.6% [4校]	100% [14校]	H14年度教育委員会
●	5 障害児教育を受けている生徒の進学及び就労の割合	25.2%	増加	H14年度教育委員会

③小児医療・救急医療体制が整備され、安心して医療が受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 不慮の事故死亡率	0歳11.5[2人] 1～4歳4.2[3人] 5～9歳6.5[6人] 10歳～14歳1[1人] 15歳～19歳18.7[20人]	減少	H12年人口動態調査(人口10万対)
◎●	2 乳児死亡率	3.2 [57人]	2.1	H12年人口動態調査(出生千対)
○	3 乳児SIDS死亡率	16.9 [3人]	減少	H12年人口動態調査(人口10万対)
○	4 幼児(1歳から4歳)死亡率	46.6 [34人]	減少	H12年人口動態調査(人口10万対)
○	5 かかりつけの小児科医を持つ親の割合	27.0%	50%	H12年小児夜間救急医療に関する調査
○	6 初期、二次、三次の小児救急医療体制の整備	整備中	整備	

④小児科医等の確保により、地域格差のない小児保健医療が受けられる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 小児人口に対する小児科医師の割合	550.0人に1人 [515人]	増加	H12年従事者届

○…国の健やか親子21 ◎…ヘルシービーブルみえ・21 ☆…新エンゼルプラン

●…三重のくにづくり宣言 △…三重県障害者プラン(第三次長期行動計画)

重点課題(4) 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

[目標] 心身ともに発達や変化の大きい思春期において、学校、家庭、地域などが協力して保健対策を強化し、健康教育を充実することによって、子どもが主体性を持って自立できるように応援します。

取組の方向性

- ①思春期の心身の発達に伴う変化、性や健康に関する正しい知識や情報を得られる。
- ②思春期のこころの問題を正しく理解し、適切な対応ができる。
- ③家庭・学校・地域が連携して、思春期問題に対応できる。

①思春期の心身の発達に伴う変化、性や健康に関する正しい知識や情報を得られる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 十代(15歳から19歳)の人工妊娠中絶実施率	13.5 [711人]	減少	H12年人口動態調査(人口千対)
○	2 性感染症罹患者に占める十代の割合	性器クラミジア20.6%(64人) 淋菌感染症9.2%(15人) 尖形コンジローム14.6%(6人)	減少	H13年感染症発生動向調査15定点医療機関報告
	3 薬物乱用に対する正しい知識を持っている高校生等の割合	調査中	増加	H14年業務食品チーム
○○	4 十代の喫煙率	男 12.8% 女 7.0%	なくす	H11年度県民意識調査(15歳から19歳)
○○	5 十代の飲酒率	22.3%	なくす	H11年度県民意識調査(15歳から19歳)
	6 中学3年生(14歳)女生徒で体重が標準の-20%以下の割合	2.04%	減少	H13年健康状態調査(教育委員会)
	7 性に関する指導実施小中高校の割合	小学校 91% 中学校 94% 高 校 94%	100%	H13年度教育委員会調べ

②思春期のこころの問題を正しく理解し、適切な対応ができる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 十代の自殺率	5歳～14歳 0 15歳～19歳 7.5[8人]	減少	H12年人口動態調査(人口10万対)
○●	2 スクールカウンセラー等を配置している公立中学校の割合	78.4%	100%	H13年教育委員会
	3 思春期教室・相談事業を実施している市町村・保健所の割合	6保健福祉部 11市町村	増加	H13年
	4 リスナー指導者数	育成中	50人	H14年度こころの健康センター
	5 思春期アドバイザー数	74人	279人	H14年度こころの健康センター

③家庭・学校・地域が連携して、思春期問題に対応できる。

	具体的な取組	現 状	目 標	調査方法
○	1 学校保健委員会を開催している学校の割合	小中高校 64.8%	100%	H13年度教育委員会
○	2 外部機関と連携した薬物乱用防止教育等を実施している中学校・高校の割合	中学校 50.0% 高 校 55.4%	増加	H13年度教育委員会
	3 地域教育コーディネーター数	55人	各中学校区に1人 [170人]	H14年度地域教育コーディネーター事業

○…国の健やか親子21 ◎…ヘルシーピープルみえ・21 ●…三重のくにづくり宣言

三重県内の母子保健サービス機関一覧

市町村

お住まいの市町村では、母子健康手帳の交付、妊産婦や乳幼児の健康診査や保健指導、乳幼児医療費公費負担、定期予防接種など妊娠、出産、育児に関する相談を行っています。

詳しいことは、各市町村におたずねください。

桑名市	TEL 0594-24-1380	勢和村	TEL 0598-49-4512
多度町	TEL 0594-49-2028	宮川村	TEL 05987-6-1716
長島町	TEL 0594-42-2111		
木曾岬町	TEL 0567-68-8111	伊勢市	TEL 0596-27-2435
北勢町	TEL 0594-72-3514	玉城町	TEL 0596-58-8000
員弁町	TEL 0594-74-5806	二見町	TEL 0596-42-1111
大安町	TEL 0594-78-3515	小俣町	TEL 0596-22-7862
東員町	TEL 0594-86-2803	南勢町	TEL 0599-66-1114
藤原町	TEL 0594-46-6303	南島町	TEL 0596-77-0004
		大宮町	TEL 05988-6-2211
四日市市	TEL 0593-54-8187	紀勢町	TEL 05987-4-1211
菟野町	TEL 0593-91-2212	御園村	TEL 0596-22-6602
楠町	TEL 0593-98-2111	大内山村	TEL 05987-2-2949
朝日町	TEL 0593-77-2511	度会町	TEL 0596-62-2413
川越町	TEL 0593-65-1399	鳥羽市	TEL 0599-25-1146
		浜島町	TEL 0599-53-1465
鈴鹿市	TEL 0593-82-2252	大王町	TEL 0599-72-5963
亀山市	TEL 0595-84-3316	志摩町	TEL 0599-85-2157
関町	TEL 05959-6-2100	阿児町	TEL 0599-44-1100
		磯部町	TEL 0599-55-4011
津市	TEL 059-229-3310		
河芸町	TEL 059-245-1212	上野市	TEL 0595-21-4111
芸濃町	TEL 059-265-3111	名張市	TEL 0595-63-6970
美里村	TEL 059-279-8114	伊賀町	TEL 0595-45-1015
安濃町	TEL 059-268-5800	島ヶ原村	TEL 0595-59-9020
久居市	TEL 059-255-3110	阿山町	TEL 0595-43-9711
香良洲町	TEL 059-292-4302	大山田村	TEL 0595-47-0737
一志町	TEL 059-295-0112	青山町	TEL 0595-52-2280
白山町	TEL 059-262-7294		
嬉野町	TEL 0598-48-3812	尾鷲市	TEL 0597-23-3871
美杉村	TEL 059-272-8083	紀伊長島町	TEL 0597-47-4750
三雲町	TEL 0598-56-7211	海山町	TEL 0597-32-0500
松阪市	TEL 0598-23-1364	熊野市	TEL 0597-89-3113
飯南町	TEL 0598-32-8020	御浜町	TEL 0597-92-3811
飯高町	TEL 0598-46-7112	紀宝町	TEL 0735-32-3700
多気町	TEL 0598-38-8095	紀和町	TEL 0597-97-0720
明和町	TEL 0596-52-7115	鵜殿村	TEL 0735-33-0070
大台町	TEL 05988-2-3785		

県民局保健福祉部

県民局保健福祉部では、未熟児の訪問指導、乳幼児の発達相談、小児慢性特定疾患の医療、養育医療、育成医療の公費負担、思春期の健康相談などを行っています。

詳しいことは、各県民局保健福祉部におたずねください。

北勢県民局桑名保健福祉部(桑名保健所)
TEL 0594-24-3620
北勢県民局四日市保健福祉部(四日市保健所)
TEL 0593-52-0585
北勢県民局鈴鹿保健福祉部(鈴鹿保健所)
TEL 0593-82-8673
津地方県民局保健福祉部(津保健所)
TEL 059-223-5052
松阪地方県民局保健福祉部(松阪保健所)
TEL 0598-50-0596

南勢志摩県民局保健福祉部(伊勢保健所)
TEL 0596-27-5143
伊賀県民局保健福祉部(上野保健所)
TEL 0595-24-8061
紀北県民局保健福祉部(尾鷲保健所)
TEL 0597-23-3435
紀南県民局保健福祉部(熊野保健所)
TEL 0597-85-2150

児童相談所

児童相談所では、児童虐待、非行、不登校等の相談を行っています。特に児童虐待を発見した場合は、児童相談所まで通告してください。

詳しいことは、各児童相談所におたずねください。

北勢児童相談所 TEL 0593-47-2030
中央児童相談所 TEL 059-231-5666
南勢志摩児童相談所(南勢志摩県民局保健福祉部児童家庭チーム内) TEL 0596-27-5143
伊賀児童相談所(伊賀県民局保健福祉部児童家庭チーム内) TEL 0595-24-8060
紀州児童相談所(紀北県民局保健福祉部児童家庭チーム内) TEL 0597-23-3435

電話相談窓口

●子ども家庭相談

(家庭教育・子育て・いじめ・子ども自身の悩み)

北勢地区 TEL 0593-45-3933
中勢地区 TEL 059-233-1425
南勢地区 TEL 0596-24-9966
伊賀地区 TEL 0595-24-8816
紀州地区 TEL 0597-22-8049

■月～金/9:00～20:00

■土・日・祝日/10:00～16:00

(12月29日～1月3日は除く)

●みえ子ども医療ダイヤル

(子どもの病気・子育ての悩み・予防接種など)

北勢地区 TEL 0593-47-2175
中勢地区 TEL 059-229-3115
南勢地区 TEL 0596-27-5368
伊賀地区 TEL 0595-24-8480
紀州地区 TEL 0597-23-3438

■毎日/19:30～23:30

健やか親子いきいきプランみえ

平成15年3月発行



三重県健康福祉部こども家庭チーム

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL 059-224-2883 FAX 059-224-2270

<http://www.pref.mie.jp/KODOMOK/plan/oyako21/top.htm>